

# SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業 を結ぶ情報紙 — 地域版 —

発行日：2012年10月20日(土)

地域企業紹介 No. 21

## シークスエレクトロニクス株式会社

### 日本のものづくりを世界で 展開する国内最大EMS企業

EMS (製造受託) 企業は、大手メーカーの黒子として存在感を増している中、相模原で開発された生産技術をグローバルに展開しているEMS企業のシークスエレクトロニクス株式会社松嶋義彦社長を緑区町屋に訪ねました。

同社のルーツは、遡ること明治29年、大阪で創業した阪田インキ製造所。現在では、サカタインクス株式会社として環境に優しい大豆生まれのインキや液晶テレビなどのカラーフィルター顔料分散液などを手がける世界3大インキメーカーです。

平成4年、サカタインクス株式会社の海外事業部を分離独立、シークス株式会社が設立されました。現在では、世界の13か国・約40社から構成される企業集団となっており、海外拠点網のネットワークをベースに部材調達・物流・EMS (電子機器製造受託)、設計・開発、部品製造、機械・化学品などを手掛けています。

事業分野は、エンジンコントロール・ブレーキ制御・メーターなどの自動車やオートバイ関連、PC周辺機器・事務機器などの情報機器、デジタル家電や白物家電、携帯電話等の通信機器、電動工具などの産業機器など幅広い。従業員はグループ全体約9,000人で、内日本人は200人と、まさにグローバルな企業である。

相模原に立地するシークスエレクトロニクス株式会社は、平成22年3月、シークスグループの基幹工場として現住所に設立し受注活動は平成23年より開始したフレッシュな会社。

(2面につづく)

シークスエレクトロニクス株式会社  
代表取締役 松嶋 義彦 (シークス株式会社  
執行役員・グループ技術統括部長)  
所在地：相模原市緑区町屋 1-3-25  
従業員数：35名 資本金：2億9,000万円  
売上高：5億7千万円 (平成23年度実績)  
事業内容：電子・電気機器組立、受託製造販売



海外生産の初期流動を支援する日本国内工場であり、シークスグループの旗艦工場として位置付けられている。つまり、世界に展開する海外拠点のマザー工場として、生産技術を開発し、少量ロットの生産確認後、世界で展開する役割を担っている。同社のDFM (Design For Manufacturability: 製造性考慮設計) 部門が担当し、顧客要求の設計思想に基づく製造や、市場での品質を考えた生産ラインなどを意識していると言う。一方、製造部門(工場)では、現在、車載/鉄道用制御機器、尿検査装置、スマートメータ、LED照明灯具などを手掛けている。

松嶋社長は、シークスグループの統括技術部長として、グループ全体の技術・品質を統括する。シークスでは、電子楽器の設計開発などを担当後、シークス主力工場であるタイ工場を立ち上

げ、日系企業や現地企業との連携の仕組みを作り上げた。

浜松の出身で、現在は、町田に在住。相模原と浜松はよく似ているという。浜松は、東海道の東西回廊と長野県方向の南北回廊が交差するモノづくりの拠点。

一方、相模原は山梨と東京の東西回廊と、横浜・湘南方面と八王子・埼玉の南北回廊の交点に位置し、人の交流がしやすい土壌ではないか。山梨方向との交流も期待され、今後の発展ポテンシャルは高い、と期待を寄せる。

松嶋社長は、浜松地方の言葉の「やらまいか」精神で、地域企業の方々と朋友となり一緒に楽しく仕事をしたいと抱負を語る。11月6日に開催する南西フォーラムでは、海外での連携事例や同社の取組を紹介いただく予定である。

## 電子通信株式会社

# 技術で勝負! 無線技術で自動車の安全・安心を図る



名古屋工業大学ソーラーカー部



バルブ用ゴムキャップ内に圧力センサーが埋め込まれ、簡単に読み取ることが出来る。



代表取締役 池田 正則氏

電子通信株式会社(代表取締役 池田正則氏)は、自動車の安全・安心と地球温暖化防止に貢献する環境配慮製品 TPMS (タイヤ空気圧監視システム: Tire Pressure Monitoring System) の開発が主な事業である。業務用無線機器の開発を得意とする同社は、1980年の創業当時から業務用無線機器の開発をメインに行い無線技術には自信がある。

最近、特に開発に力を入れている次世代 TPMS は、タイヤの空気圧や温度をタイヤに取り付けたセンサーで測定し、その情報を無線で車体側の受信機に送り、ドライバーに異常を知らせるシステム。開発当初は、バーストなどの危険回避のためのシステムだったが、タイヤの空気圧を適正に保つことが燃費向上に効果があることからCO2削減につながる環境配慮製品として注目されている。

米国ではトレッド法により、2007年より法規化され、新車への搭載が義務付けられている。また、EUでは2012年12月から、韓国では2013年1月から法規化が決定している。更に、中国や日本でも法規化が検討されており、近年、世界中で加速的に普及しているシステムである。

国による周波数の違いや車種によるタイヤの構造の違いを把握しながら開発を進め、大型車用は既に(株)ブリジストンのトラックタイヤ用として海外で販売されている。乗用車用は、試作開発が終了、耐久試験が始まっている。更にタイヤの使用履歴を蓄積できる機能を持つ次世代 TPMS の開発やタイヤ空気圧データをナビやスマートフォン等で表示する開発にも取り組んでいる。TPMS の量産が出来る製造拠点を相模原市に置き、TPMS 技術のトップブランドを目指す

池田社長は意欲的だ。

また、ソーラーカーの FIA 公認耐久レースではオリンピッククラス参戦の名古屋工業大学を、国内最高峰の自動車レース SuperGT300 ではパシフィックレーシングチーム(マシン名: PACIFIC NAC イカ娘フェラーリ)をデジタル簡易無線機と無線システム技術でサポートをしている。レースのある日は、富士スピードウェイや鈴鹿サーキットなどへ出向くそうだ。



パシフィックレーシングチーム

電子通信株式会社  
〒252-0243相模原市中央区上溝1880番-2 SIC-3  
TEL.042-707-0074 FAX.042-707-0044  
URL: <http://www.denshitsu.co.jp>

## 産業界の活力で新相模原を創出

### 相模原商工会議所

相模原商工会議所は、企業の「経営力アップ」をトータルにサポートする為に、「相談」「情報」「交流」等をはじめとした多彩な支援サービスを実施し、企業の抱えるさまざまな経営課題の解決に向け活動しております。

#### ◇ビジネスチャンスをつかむために

市内会場で製造業向けの「受・発注商談会」を開催しております。個別商談により、新規取引先の開拓及び情報収集の機会として活用いただけます。また、さまざまな業種の会員が集まり、PRや情報交換を行いながら人的交流を推進する「ビジネス交流会」も開催しています。市内会員企業による「地区内ビジネス交流会」をはじめとして、広く相模原・町田・八王子の各商工会議所会員による「広域ビジネス交流会」や首都圏（政令指定都市）商工会議所連携による「交流会」に参加できます。

#### ◇調達資金をバックアップ

企業の資金需要にお応えするため、さまざまな支援事業を行っております。中でも「小規模事業者経営改善資金（マル経融資）」は、昭和48年に創設されて以来、多くの小規模事業者の方に利用されています。「事業資金を借りたいが、担保も保証人もないし…」といった小規模事業者の経営をバックアップするために、無担保・無保証人で商工会議所の推薦に基づき融資が可能となる日本政策金融公庫の公的融資制度です。

さらにマル経融資の金利70%以内（実行後24回）が利子補給されます。ご利用には一定の条件がございますので詳しくはお問い合わせください。

#### ◇困った時には、まず相談を。

創業から経営革新、販路開拓、事業承継まで、それぞれのステージにおけるご相談に応じています。

弁護士、税理士、行政書士、社会保険労務士など、各分野の専門家による「無料専門相談」や、企業個々の経営課題に応じた専門家を



(写真左から) 土屋 義昭 松木 雄一 霜島 祐亮 加藤 秀継

事業所に派遣し、具体的で実践的なアドバイスを提供するなど、幅広く充実したメニューで各種のご相談に応じています。

#### ◇労働保険事務の代行

相模原商工会議所では「労働保険事務組合」を運営しており、会員企業の労働保険事務の代行を行っております。事業主の労災保険の加入や労災保険料の分割納付など、いくつものメリットがございます。

ご相談等ございましたら是非お気軽にお声かけください。

<連絡先> 相模原商工会議所 中小企業振興部 経営支援課  
TEL.042-753-8135

## 戦国時代の遺構が眠っていた

津久井湖観光センターのメタセコイアの木にたくさんの蟬の抜け殻がありました。眺めていると、その後ろの城山の頂上付近にニョッキと大きな木が見えます。その木に会いたくて城山を上り始めると、まず、樹齢約120年のひのき林が迎えてくれます。そしてしめ縄をした推定樹齢900年の大杉が現れます。堀切を渡り、本城曲輪(山頂)にたどり着くと、秋には紅葉したもみじが出迎えてくれます。



津久井の大杉(樹齢900年)

津久井城跡に見える大杉(城山)

堀切

⑤ とってもとっても ちいさな旅

メタセコイアのせみの抜け殻

本城曲輪(城山山頂)





## 女性力発揮セミナー 第2弾 ミドルコース

多くの経営者が人材について同じような悩みを持っています。一方、経営者へのアンケートでは、95%の方が「女性活用が業績向上につながる」と答えています。

SICでは、女性リーダーの育成をめざし、その第一歩として「女性力発揮セミナー」を開始しました。今回、第2弾としてミドルコースを開催いたします。女性スタッフの方々のご参加をお待ちしています。

※SICホームページ上で、9月～10月に開催しましたベーシックコースの開催報告を掲載しています。是非、ご覧ください。

時間帯 16:30～19:00 (講義:2時間・ティータイム:30分)

場所 さがみはら産業創造センター SIC-2大会議室 定員 12名

お問い合わせ: TEL:042-770-9974 E-mail: [hr-pr@sic-sagamihara.jp](mailto:hr-pr@sic-sagamihara.jp)  
さがみはら産業創造センター 地域産業界の人づくり支援事業 まで

### ■ミドルコース開催概要

#### ■全社的視点を学ぶ 11月1日(木)

講師:中小企業診断士 古賀千根

多くの社員が自分の部署でしか物事を考えられない傾向にあります。しかし、少し俯瞰(ふかん)して、全社的視点で物事を見ることで、考え方が変わり、物事の解決策が見えてくることもあります。まずは、全社的視点とはどういうものなのかを学びます。

#### ■発想力を磨く 11月15日(木)、11月29日(木)、12月13日(木)

講師:グラフィックデザイナー 小崎直利

正確に伝達するためのコツ、自由に考えるコツを学びます。また、発想するには、情報を整理し状況を把握することが第一歩です。整理を通し「状況を把握する力」を鍛えます。

### ■ミドルコース

① 全社的視点を学ぶ	11月1日(木)
② 発想力を磨く(1)	11月15日(木)
③ 発想力を磨く(2)	11月29日(木)
④ 発想力を磨く(3)	12月13日(木)
⑤ お食事会(実費)	12月13日(木)

受講料 12,000円(全4回) お茶・お菓子付き

産産マッチング

ビジネスチャンスは身近な地域にある!!

開催日:平成24年11月6日(火)14:00～18:30

## お互いの技術を高め、新たな事業を創出しよう

ものづくりの現場での空洞化などにより、従来の取引関係の構造が変わりつつある中で、技術開発の場などで新たな担い手となれる南西地域企業が自社の強みをアピールし、新しいパートナーシップを築ききっかけ作りの場とします。

フォーラム (14:00-16:30) サンエールさがみはら(ホール)

プライベート型面談会 (16:30-18:30)SIC2会議室

#### ■東京航空計器株式会社

「航空機搭載機器の変遷と将来展望について」

#### ■三木ブリー株式会社

「MLST技術による焼結部品の大型化、高密度化、低コスト化の可能性と産産連携コース」

#### ■シークスエレクトロニクス株式会社

「シークスの海外展開事例、および基幹工場としてのシークスエレクトロニクスの役割」

※詳しくは、SICホームページをご覧ください。

シークスエレクトロニクス(株)・三木ブリー(株)との面談会

※別途申込が必要です

面談申込について

面談企業は、事前に上記企業と事務局にて選定を実施いたします。面談をご希望の場合は、まず所定の期日までに「シーズ提案用紙」をご提出いただけます。詳しくは、下記事務局へお問い合わせください。

お問い合わせ先: 首都圏南西地域産業活性化フォーラム事務局

株式会社さがみはら産業創造センター

TEL.042-770-9119 FAX.042-770-9077 E-mail: [nansei@nansei-forum.jp](mailto:nansei@nansei-forum.jp)

## 11月～ SICイベントカレンダー

2012年11月～

2012年10月30日(火) 第1回エネルギー関連ベンチャー

創・蓄・省エネ ビジネスマッチング開催

11月1日(木) 女性力発揮セミナー ミドルコース開催

11月6日(火) 第24回南西フォーラム 産産マッチング

10月27日(土)、11月17日(土)、12月8日(土) 子どもワークショップ開催

**入居企業を募集しています。**

SIC 空室情報 (10月20日現在) SICまでお気軽にお問合せください。(賃料:共益費込み)

部屋	空室数	賃料(月額)
SIC-1	現在、空き室はありません	
SIC-2	セミラボ 50.2㎡	2 164,850円
SIC-3	現在、空き室はありません	

編集後記

爽やかな季節になってまいりました。気象庁の発表で、今年、世界の9月の平均気温は、エルニーニョ現象も手伝って、観測記録が残っているこれまでの122年で一番高く、日本も過去最高を記録したそうです。今年暑かったのは、日本だけではなくたんですね。これから寒い冬に向かいますが、気持ちは熱く、または穏やかに、心は暖かく過ごしたいものです。



(株)さがみはら産業創造センター(SIC)  
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21  
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077  
E-mail: [koho@sic-sagamihara.jp](mailto:koho@sic-sagamihara.jp)

ご意見・ご感想をお待ちしています。

ウェブサイト <http://www.sic-sagamihara.jp/>